

鶴 居

スローガン

支えあい・ふれあい・助けあいでつながる 地域のきずなづくり

実践目標①助けあいの気持ちでつながる防災の取り組みを進めよう!!

実践目標②ふれあいを大切にした小さい単位のコミュニティづくりをしよう!!

実践目標③困っている人の SOS をキャッチできる支えあいの仕組みをつくろう!!



鶴居地区は沖代平野の水源である三口大井手堰を擁し、豊かな土地柄から稲作や野菜栽培が盛んな地域です。また、中津を代表する祭の一つである「鶴市花傘鉾祭」が開催されており、祭を通じて世代を超えたつながりが生まれている地域でもあります。

子ども食堂や見守り活動といった小地域福祉活動も徐々に広がっており、支え合いの地域づくりが進められています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	8,428	8,519	8,461
世帯数	3,553	3,727	3,903
高齢化率	22.9%	26.3%	28.0%
一人暮らし高齢者	568	658	705
高齢者のみの世帯		1,623	1,664
0~18 歳人口	1,673	1,697	1,626

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と理由・効果

実践目標①

防災の取り組みを進めよう！

アンケートや作業部会を通じて、「災害時どう行動すればよいか分からない」「避難場所について不安である」「支援が必要な方の避難が心配」など、防災に対する関心が高いことが分かりました。今ある組織や仕組みを継続・活性化させ、取り組みを通じて住民同士が繋がっていくことが大切と捉え、防災についての学習や訓練などの機会を設け、地域内の連携を深めながら取り組みを進めていくことで、もしもの時にも助けあえる災害に強い地域づくりにつながっていきます。

実践目標②

小さい単位のコミュニティづくりをしよう！

「自治会や老人会、子ども会への入会が減っている」「地域によっては交流の機会がない」「お世話役になる人がいない」など地域内のつながりに関する意見が多く聞かれました。自治区内などの小さな単位で気軽に参加できるような機会を創出することで、つながりを深めるきっかけができます。また、多くの人に参加し交流を深めていく中で、活動の担い手となる人も増やしていくことで、コミュニティの活性化と行事の継続化が図れます。

実践目標③

SOS をキャッチできる支えあいの仕組みをつくろう！

アンケートでは「困った時にどこに（誰に）相談すればいいか分からない」といった意見があり、また地域の中には様々な生活課題を抱えている方がいる現状もあります。身近な所に相談相手となる支援者がいることで、抱え込んでいる困りごとを聞いて、適切な相談窓口につなぐことができます。専門機関と連携しながら、困りごとをキャッチできる仕組みを作ることで、お互いに支えあえる関係が生まれてきます。

他にも出ましたこんな課題!!

既存の会（団体）の
連携を強化しよう

認知症や発達障がい
への理解を深めよう



ボランティア活動
へのきっかけづく
りをしよう

地域の様々な団体
が協力するネット
ワークをつくろう

【鶴居】

活動内容	進 捗				
	R4	R5	R6	R7	R8
ハザードマップの解説と周知のための勉強会の実施					
隣近所などのコミュニティでの支え合いの仕組みづくり（声をかけあう仕組み、組織図作成等）					
小さいコミュニティで訓練や話し合いの実施					
災害の種類に応じた避難場所を決める					
災害が起きた瞬間の対応への仕組みづくり					
定期的に訓練を実施する（参加賞など訓練に参加したくなる工夫）					
防災をきっかけとして若い人の協力が得られる仕組みづくり					
自治会間（区長間）での情報共有					
ボランティア活動への参加を促すために関わるきっかけづくり					
すでに行われている活動を自治会等を通じて広く知らせる					
自治会加入についてメリットを具体化する					
地域サロンや週一体操教室を立ち上げる					
文化的行事や伝統行事（お接待・盆踊りなど）を継続発展していく					
自治会や地域の団体を活性化し、他者とのつながりをつくる					
自治会、老人会、民生委員等の連携					
気になる人に相談窓口の周知をする					
SOS を発信できない人をキャッチする仕組みをつくる					
困りごとに対して、民生委員や老人会の取り組みを通じて行動する					
認知症や発達障がいに関する研修会への参加呼びかけ					
コミュニティーセンター等での集まりの場への参加呼びかけ					
身近な立場での支援者（相談相手）となれる人を増やす					
地域の様々な団体が協力する（ネットワークをつくる）					

成年後見制度への
理解を深めよう

高齢者・障がい者へ
の声かけをしよう



危険箇所などを記
した交通安全マッ
プを作ろう

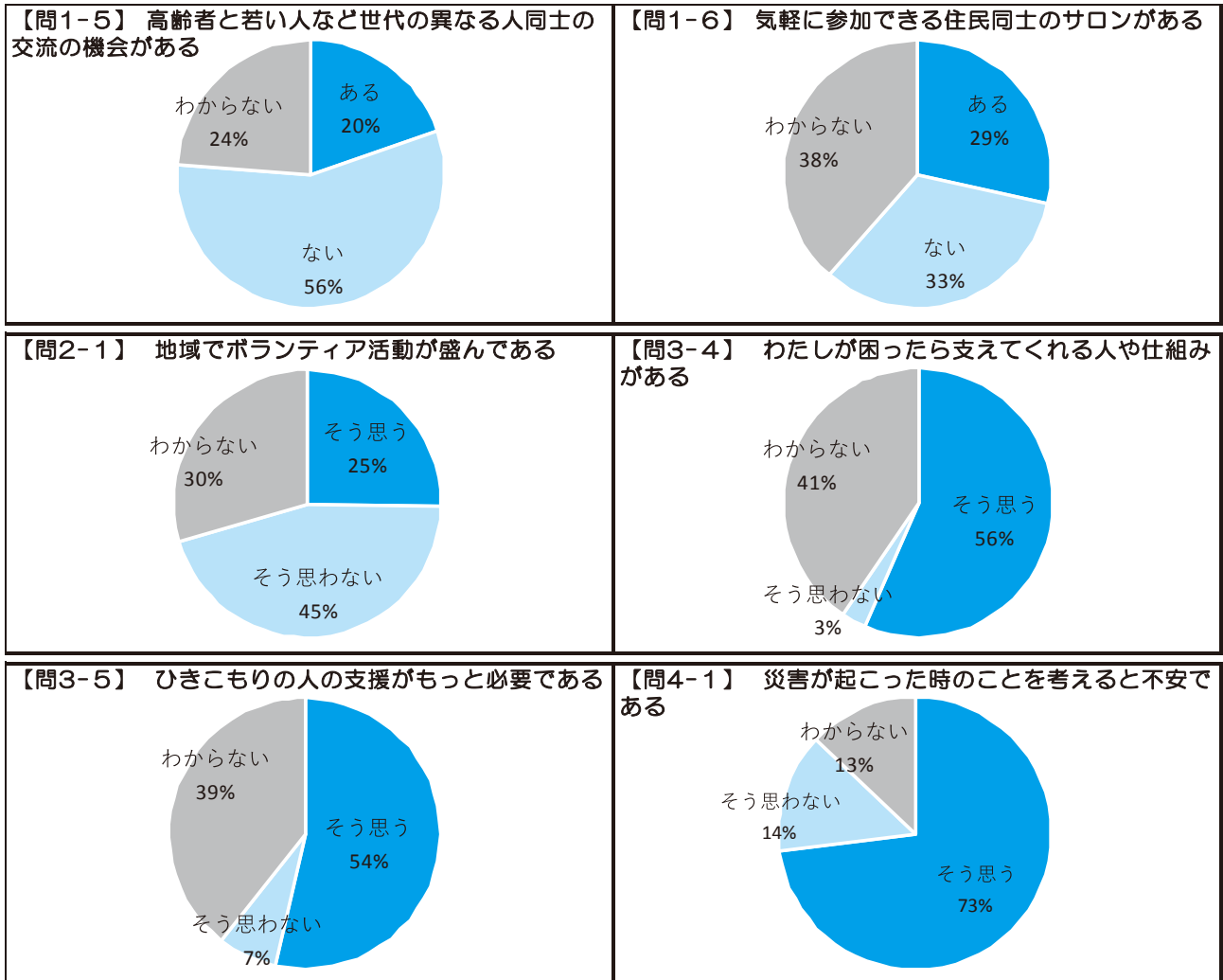
自治会加入の促進
を図ろう

第4次の実践目標はこうして決まりました

鶴居地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	71人（男性34人/女性35人/無回答2人）
回答者年代	中学生・高校生：4人、30代：7人、40代：10人、50代：2人、60～64歳：6人、65～74歳：24人、75歳以上：13人

内容抜粋 無回答分は除いています



アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- ・地域の中で声かけができるとうい
- ・ボランティア活動への参加を促すため関わるきっかけづくりが必要
- ・地域の様々な団体が協力する
- ・認知症の方の対応を学ぶ取り組みが必要
- ・市民後見人についての広報が必要
- ・身近な立場での支援者の存在が大切
- ・定期的な防災訓練の実施
- ・有償サービスなど、地域内での助け合いが必要

作業部会で出された、鶴居の地域福祉活動の良いところ

- 地域的に住みよい所である
- 地区によっては交流行事が活発に行なわれている
- 色々な活動に対して、お願いすれば協力してくれる人も多い
- 自主防災組織を地域で作っている
- ゴミ会議を開いてゴミ出しマナー向上に努めている

様々な意見をもとに作業部会で、整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



鶴居の社会資源

(R3年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進める活動のことです)

住民同士の 交流・つな がりの場	いきいきサロン (3)	万田きずなの会 (第3月曜・万田公民館) 湯屋仲良しクラブ (第2、4木曜・湯屋公民館) 南高瀬スマイルサロン (第3土曜・南高瀬公民館)
	こども食堂	鶴居こいのぼり (第1土曜・鶴居コミュニティーセンター)
	週一体操教室(3)	万田めじろん体操教室 (毎週水曜・万田公民館) 高瀬太陽クラブ (毎週木曜・鶴居文化センター) 上ノ原健康クラブ (毎週火曜・上ノ原区民館)
	その他	下永添を元気にする会
ボランティ ア活動	給食ボランティア	ねぎの会 (第4水曜・鶴居コミュニティーセンター) 人参クラブ (第3土曜・南高瀬公民館) もみじ (第4木曜・万田公民館)
	鶴居で活動する地 域ボランティア	胡桃 (読み聞かせグループ) 中津マジックの会 中津地区更生保護女性会鶴居校区
防災活動	中津市防災士協議会鶴居部会、消防団	
防犯活動	地区防犯パトロール隊 交通安全パトロール隊	
その他	鶴居校区青少年健全育成会 (ミニ集会)	

関係機関主催の交流の場・社会貢献活動

名称	主催	対象・内容
オレンジカフェ三歩	特別養護老人ホーム 悠久の里	認知症の方やその家族等が気軽に参加で きる場

地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相 談窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) 三光園	
民生児童委員による心配ごと 相談窓口	毎月第1土曜 11:00 ~ 15:00 鶴居コミュニティーセンタ-	

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153参照) にお問い合わせ下さい